

事務事業名		町会運動会開催支援事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	4 豊かな心を育む教育・文化づくり					担当組織	担当部	観光スポーツ部	担当課	スポーツ立市推進課	
	政策	3 スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり					担当係	スポーツ立市推進係		担当課長名	関口 吉丸	
	施策	1 生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備					新規事業・継続事業		継続事業			
	基本事業	1 生涯スポーツの推進					実施計画事業・一般事業		一般事業			
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名						
	15058	一般	10	5	1	町会運動会開催支援事業						
	事業区分		市単独事業・国県補助事業		市単独事業		任意的事業・義務的事業		任意的事業			
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	平成17年度～ 年度		根拠法令 条例等	佐野市町会運動会開催奨励金交付要綱						
	実施方法		実施方法		直営		事業分類		支援事業			
	リーディングプロジェクト		リーディングプロジェクト		該当		市長マニフェスト		3-14			

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)						
町会が実施する運動会に奨励金を交付することにより事業費の支援を行い、継続的な運動会の開催により地域の運動機会の提供と地域コミュニティづくりの一助にする。	町会運動会開催奨励金を39町会に交付した。						
	活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
	交付件数	件	37	39	40	40	40

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

市内の町会	対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
	町会数	町会	167	167	167	167	167

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

各町会に運動会を実施してもらう	成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
	運動会開催町会数	町会	63	66	66	67	67

④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)

スポーツ・レクリエーションに親しんでもらう	上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
	週に1回以上スポーツ・レクリエーションに親しんでいる市民の割合	%	40.7	40.6	40.0	42.0	45.0

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
	国庫支出金	千円						
	県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円	1,610	1,670	1,670	1,670	1,670	
	一般財源	千円						
	事業費計(A)	千円	1,610	1,670	1,670	1,670	1,670	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			報償費	1,610	報償費	1,670	報償費	1,670
	人件費	人	1	1	1	1	1	
のべ業務時間	時間	100	100	100	100	100		
人件費計(B)	千円	389	394	394	394	394		
トータルコスト(A)+(B)	千円	1,999	2,064	2,064	2,064	2,064		

事務事業名	町会運動会開催支援事業	担当部	観光スポーツ部	担当課	スポーツ立市推進課	担当係	スポーツ立市推進係
-------	-------------	-----	---------	-----	-----------	-----	-----------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	旧佐野市において昭和61年より開始した町会運動会に対する支援を、合併後も市民一人スポーツの推進を目的として実施している。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	町会活動を始めた地域の繋がりが希薄化していると言われている。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	各運動会を単位として奨励金を交付しているため、複数の町会が合同で運動会を開催する場合の奨励金を各町会ごとに交付してほしいとの意見があった。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	現状維持により対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	理由・改善案	町会運動会の普及を通して、市民一人スポーツの推進の一助としているため、市の施策体系に結びつく。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	理由・改善案	地域住民の自主的な町会運動会に対し財政支援を行うものであり、市民一人スポーツを推進している市が行わなければならない。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	理由・改善案	町会が運動会を実施する際の支援事業であり、対象と意図を見直す必要はない。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	理由・改善案	町会運動会の実施に対する支援は奨励金で行っており、町会の期待に応える形としては現状の支援となる。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業名	
	類似事務事業はない	理由・改善案	
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	理由・改善案	奨励金の交付金額を見直すと、町会の事業費負担に影響を及ぼすことが考えられるため、削減する余地はない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？ 事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	理由・改善案	運動会開催町会に対する奨励金の交付を行う支援事業であり、町会の事業費の一部を支援しているにすぎないので適正である。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)		
	町会運動会を当事業で支援しなくても継続的に実施できるようになったときには休止できる。		

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																								
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○	×																					
	低下		×	×																					